

平成30年7月豪雨

各地を襲う

記録的な大雨



スカイパーク公園内道路の崩壊(7月9日)

7月3日、台風7号が東シナ海を北上し、4日には日本海を北東に進み、午後3時に温帯低気圧に変わりました。その後、前線が本州付近に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となり、前線の活動が活発化しました。

この台風や前線の影響で、記録的な大雨となり、3日には1時間あたりの降水量として統計開始以来最大となる62^ミを観測しました。また、連続雨量は、3日午後9時の降り始めから8日午前0時までで770.5^ミに達しました。

気象庁では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、今回の豪雨を「平成30年7月豪雨」と決めました。

避難指示・勧告を各地に発令

7月4日午後8時5分、岐阜県と岐阜地方気象台が「土砂災害警戒情報(※1)」を発表しました。市では、土砂災害発生の危険性が高まったとして、午後8時25分に災害対策本部を設置。また、午後8時30分には、江名子町など9,082世帯2万2,335人に避難勧告(※2)を発令しました。

その後、午後11時25分には土砂災害警戒情報が解除されたため、午後11時45分に避難勧告を解除しましたが、5日の午後4時55分、一之宮町の一部に「避難準備・高齢者等避難開始(※3)」を発令。その後も、土砂災害の恐れや河川氾濫の恐れがあることから、各地に避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告を発令しました。また、7日午後0時30分、西之



災害対策本部では、各支所や消防署員とテレビ中継で状況を確認しながら対応にあたりました

一色町3丁目目で土砂災害が発生したことを受け、「避難指示(※4)」を発令しました。さらに、午後1時11分に発表された「大雨特別警報(※5)」を受け、清見町と荘川町の全域および高山地域と国府地域の一部1万5,396世帯3万8,968人に避難指示を発令したほか、6,106世帯1万6,034人に避難勧告を発令しました。

- ※1 **土砂災害警戒情報** 大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、自治体の避難勧告発令や住民の自主避難の判断を支援するため、岐阜県と岐阜地方気象台が共同で発表し警戒を呼びかけるもの
- ※2 **避難勧告** 災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令する勧告
- ※3 **避難準備・高齢者等避難開始** 事態の推移によっては、避難勧告などの発令を行うことが予想されるため、避難の準備を呼びかけるもの。避難に時間を要する人は、避難を開始することが望ましい
- ※4 **避難指示** 災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令する指示
- ※5 **大雨特別警報** 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に気象庁が発表